

学校評価（保護者アンケート）を読ませていただいて

令和3年1月29日（金）

大和町立小野小学校

校長 手代木 吉之

大寒の候 保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、全国的に今なお新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、本県でも警戒レベルが3に上げられ、一層の感染症対策を求められているところです。このような状況の中、本校では6月の学校再開以来「マスクの着用」「換気」「手洗いの徹底」「三密の回避」等に取り組み、感染症拡大防止に備えているところです。まだまだ予断の許されない状況が続いていますので、保護者の皆様におかれましても、これまで同様、基本的な感染症対策を徹底するよう重ねてお願い申し上げます。

さて、12月25日付けで、学校評価保護者アンケートに速報値についてご報告させていただきました。学校ではその後、「保護者の皆様の思いを共有する時間」を設け、頂いたご意見を全職員で確認する時間を取り、さらに、各学年ごとに細かく分析し、

- ◎ すぐにでも改善できること
- 少しお時間を頂いて対応すること

の2つの観点からご意見を整理いたしました。

例えば、「すぐにでも改善できること」では、「今年度学校の様子が分かりづらいように感じた」「メールが多く、煩雑だった」というご意見を踏まえ、

- ・ 2月にも4日間連続の学習参観を設定する。
- ・ ホームページを毎日更新する（卒業式までのカウントダウンカレンダー）。
- ・ 毎月行っている「児童アンケート」の結果を学校便りで公開する。

などの取組を1月より行わせていただいております。

また、メールについては、原則として、

- ・ 大和町教育委員会から指示のあるもの
- ・ (子どもの命に関わるような) 緊急性のあるもの

を配信するように段階的に、移行していく予定で進めています。

また、「少しお時間を頂いて対応すること」としては、オンライン学習への要望が多く寄せられ、学校と致しましても、今後の急な休校等に備えて、暫時準備を進めているところでございます。

この点では、

- ・ 12月下旬～1月, Google Meet を活用した授業検討会 (リモート会議) 試行
- ・ 1月下旬, Google 担当者による教職員研修
- ・ 2月下旬, 校内の Wi-Fi 環境の整備
- ・ 3月上旬, 教職員対象にタブレット端末 Google Chromebook 貸与
- ・ 4月上旬, Google Chromebook についての保護者説明会 1
- ・ 4～8月, タブレット端末とオンライン学習に関する教職員の日常的な研修
全校児童へのタブレット端末の割当ての計画と準備
タブレット端末の取扱いと授業での活用に関する校内での共通理解
- ・ 8月下旬, Google Chromebook についての保護者説明会 2
児童対象にタブレット Google Chromebook 貸与
「ICTタイム (タブレット操作に慣れる時間)」「ICTモラル (情報モラル教育)」の授業開始
- ・ 9月下旬 御家庭と学校をつないだ「オンライン学習」の試行

という流れで、計画を立てております。

実際に御家庭と学校をつなぐまでには、どうしても環境整備や児童への指導、保護者の皆様への説明、教職員の研修等があり、お時間をいただきながら準備を進めることになることにつきましては、どうか御理解願います。

さて、以下、いただいたご意見につきましては、学校としての回答を各担当より紹介させていただきます。今回、皆様から記名式でご意見をお寄せいただいておりますので、本

来であればお一つお一つのご意見にお応えしたいところではございますが、いくつか代表的なご意見について学校としての回答を記載させていただきましたのでご承知願います。

学校では、1月13日に教育課程全体会を開催し、今年度の反省や保護者の皆様からいただいたご意見をもとに、令和3年度、「新しい生活様式」での教育課程を現在作成中です。ここで、確認したことは、

○新しい生活様式のもとで、何が子供たちにとって必要か（大切か）。

○新しい生活様式のもとで、何ができるか。

ということ、学校教育目標の原点の児童像（明るく・賢く・強く）に戻って考える、ということ、

年間行事予定（運動会、音楽会、学習参観、PTA関連行事）等、保護者の皆様には大変関心の高いことかと存じますが、現在このような状況で作業を進めておりますこと、御理解願います。なお、これらにつきましては、予定が固まりしだい、本校ホームページでお知らせいたします（2月下旬頃）。

今後は作成した学校としての方針について、PTA執行部の皆様、地域コーディネーター様はじめ地域の皆様にもご意見を伺いながら令和3年度の教育課程について固めていきたい、と考えております。

今回、いただいたご意見の中には、学校に対する厳しいご意見もございましたが、コロナ禍での教職員の対応について、たくさんのお励ましと感謝の言葉も寄せられました。皆様からいただいた貴重なご意見を今後の学校運営に生かし、これからも825名の子供たちのため、教職員、心を一つに取り組んでいく所存でございます。

どうか、これからも温かく見守っていただければ幸いです。

「明るく生きる子供」について

（1）結果

「感謝の気持ちを素直に表現」「互いのよさを認め合える」については肯定的回答が多く見られましたが、「思いやりのある言葉で話す」「明るい挨拶と返事」については否定的回答が約 15%という結果となりました。

（2）回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 以前よりも自分の思ったことを言葉にできるようになり、それに伴って表情も明るくなりハキハキしているように思います。
- 友達と生き生きと今を楽しそうに過ごしている姿が見られた時。相談できたり何でも素直に自分の想いを相手に伝え合える友だちが近くにいてくれることで明るく学校に行けている。
- 家の前が通学路ですが、毎朝元気に挨拶をしてくれるお子さんが多いです。
- 小野小学校の子供達は、道端ですれ違っても目を見て元気よく挨拶してくれるので、素晴らしいと思います。

- 明るく生きるとは、個性を尊重され素直に自分を表現する事だと考えています。笑顔で大きな声で挨拶や返事をする子どもだけではないと思うので、その点も踏まえて先生方にはご指導頂きたいと思っています。

⇒ 御意見ありがとうございます。一人一人の個性も大事にしながら、挨拶や返事によるコミュニケーションの始まりを意識させていきたいと思っています。学校では、丁寧に相手に伝わる声、小さな声でも心のこもった挨拶、ときには会釈のみなど、場に応じた挨拶ができるように指導しています。

- 無理に明るくする必要はなく不安なときは不安だと自分の気持ちを伝えられる子供でよいと思う。

⇒ 御意見ありがとうございます。子供の思いに気付き、寄り添いながら共に成長していけるようにしていきたいと思っています。

「賢く生きる子供」について

（1）結果

「学び方を知り、進んで学習」「話をしっかり聞く」「じっくりと考える」「意欲的に家庭学習」については、いずれも否定的回答が15%から20%を超える結果となりました。

（2）回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 賢さは勉強のことに関してだけだと思わないように、様々な場面での賢さを身に付けていってほしいと思っています。
- 学校生活の間に大人の指示に従える事だけではなく、その先に自分で物事を考えて判断していけるよ

うな「賢さ」も大事にしてほしいなと思います。

○ クラスでの授業の様子を息子から聞いています。先生が子どもたちの様々な考えを導き、発せられた考えをみんなで見つめ、認めあっていることが感じられます。

● 意欲的な学習に向けては、家庭でも取り組まなければならないと思いますので、学校でどのような取り組みをしているのか、お知らせなどで共有いただければありがたいです。

⇒ 御意見ありがとうございます。各学年の学習の様子について、お知りになりたいことは遠慮なく担任の先生に相談してください。学校では、子供たちの学びたい、もっと調べてみたい、なぜだろうなどを大切にしながら、学習の始まりに学習課題を明確にして、取り組めるようにしています。学習の終わりでは、分かったこと、できるようになったこと、更に調べてみたいことなどの振り返りをし、次の学習につなげるようにしています。お子さんのノートや学習プリントを見ていただくと、今何をどんなふう学習しているのかが御理解いただけるのではないかと、思います。

● 賢いとはどういう意味ですか？

⇒ 賢さとは、勉強が得意、テストで点数が取れるといったことではなく、「自分の得意なことを伸ばすために必要なことを見つけて学び続ける」「自分の苦手を克服するための方法を見つけて学びに生かす」「そのときの状況をきちんと把握し、場に応じた、あるいは人の気持ちを考えた言動ができる」ことであると考えます。自分を伸ばし相手の気持ちを考えることのできる心の賢さを伸ばせるよう、今後とも指導と支援を続けていきます。

「強く生きる子供」について

(1) 結果

「目標をもち、それを実現しようとする」「失敗を恐れず最後までやり抜く」については、いずれも否定的回答が20%を超える結果となりました。

「楽しく運動し、体を鍛える」については否定的回答が17.4%となりました。「自分の安全を守る」については肯定的回答がほとんどでした。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

○ 学校生活を通して友達と切磋琢磨することで強くなっていくと思う。

○ 以前に比べると、できないことに対し、最後まで頑張れることが増えてきているように感じる。子の成長をとてもうれしく思う。

○ 体力面ではこちらの学校に転校してきてからなわとびができるようになったので少し強くなったのかなと思います。

● 元気に外で遊び体を動かすことが少ないこと、失敗することを恐れているのか、結果が出なかったことを懸念してか、なかなか前向きな行動を取れないところがあると感じています。

⇒ 御意見ありがとうございます。コロナ禍において、思うように外遊びができなかった日も多かったことと思います。「遊びの中で子供は育つ」夢中になって遊ぶことで、失敗体験や成功体験が生まれ、それ

が子供の心の成長にもつながっていくと思います。「教室は間違っているところ」「間違いをみんなで認め合える場所」を学校でも実践し、失敗したり、間違ったりしながら成長していけるようにしていきたいと思っています。

● 失敗することへの恐怖心、羞恥心からなかなか新しいことに自ら挑戦することが少ないように思います。

⇒ 御意見ありがとうございます。授業や普段の生活において、「一生懸命考えて生み出した間違いは宝物」「一生懸命やった結果の失敗は価値がある」ということをもとに、いつでも安心して考えを言ったり様々なことに挑戦したりすることのできる学級作りを目指しています。

● 自分という気持ちは育っていると感じます。その気持ちがどう繋がって生きて行くのかはまだ難しい様に思います。特に命に関わる危険な事は身を持って教える事はできないので少し困っています。

⇒ 御意見ありがとうございます。子供たちの発達段階に合わせて、今後も指導していきます。命にかかわることは、起きてしまってからでは遅いので、場面をイメージさせたり、ひやっとした体験を取り上げたりして、具体的に指導していきます。御家庭でも、日々の生活の中で起こりそうな危険やひやっとした場面を子供と一緒に考えていってください。

Ⅱ 学校教育目標（目指す学校像）について

（文責：教頭 徳田）

「美しく潤いのある学校」について

（１）結果

「潤いのある掲示物」については「分からない」の回答４８％を除く多くの回答が肯定的なものでした。

「清掃が行き届き、整頓された環境」についても、「分からない」の回答３３．１％を除く多くの回答が肯定的なものでした。

（２）回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 業務員さんがいつもキレイに清掃してくださってる姿を何度も拝見している。子ども達も集中して掃除をしている子が多いと思う。
- 以前、学習参観日に参加したとき廊下や階段登るとき季節の壁面飾りや図書室前の装飾も綺麗で明るく華やかで楽しい気持ちになりました。学年のクラスごとの習字や絵も子供達も頑張ってるのを見れてました。
- ６月までのコロナの休校後から、金曜日の持ち帰る上靴の汚れが以前より少なく、校内の清潔が保たれているように思います。

● 上履きが毎週かなり汚れているので、床の清掃をもう少ししっかりやらせた方が良いと思います。

⇒ 御意見ありがとうございます。学校における新しい生活様式の改訂に伴い、２学期途中からは、掃き掃

除だけでなく、拭き掃除も行っています。今後も「もくもく掃除」を行い、自分たちが使った場所や教室は、自分たちできれいにすることに取り組んでいきます。

- 教室以外の場所で、様々なものが整頓されずに散乱している場がありました。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。特別教室や資料室、倉庫等も含め、日々の整理整頓に努めていきたいと思えます。

「楽しく活力のある学校」について

(1) 結果

「一人一人が尊重され、互いの心が通い合う場所」については、「分からない」の回答 22.1%を除く多くの回答が肯定的なものでした。

「明るい笑顔と爽やかな挨拶」については、「分からない」の回答 25.0%を除く多くの回答が肯定的なものでした。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 担任の先生が前向きに子供に接してくださっています。ノートなどに書いてくださるひと言だけを見ても、できないところばかりを見るのではなく、良いところをどんどん褒めてくださりながら足りないところを伝えてくださるので、子供は本当に先生が大すきなようです。
- 学校の外で子供達と会った時に元気な挨拶があるととても気持ちが良いと思います。学校での生活の中で染み付いているのだと思います。
- 学習参観など訪問する際に、自分から挨拶をしてくれる子が居ます。とても良いと思います。
- 我が子を送りながら、朝たくさんの子供たちに挨拶や声がけをしますが、ほとんどの子が返事をせずに知らん振りして通り過ぎていきます。小野小の生徒は挨拶がよくできる印象でしたが、最近の様子を見ていると残念に思います。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。しっかりと挨拶をする子とそうでない子が見られ、学校でも指導を行っています。挨拶はコミュニケーションの第一歩と意識させ、相手に気持ちを向け、挨拶をきちんとできるよう継続的に指導していきます。「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」が当たり前に出てくる学校、家庭、地域でありたいと思っています。

「日々新たに伸びる学校」について

(1) 結果

「課題を共有し、積極的に創意工夫」「分かる・できる・伸びる喜びが得られる場」については、それぞれ「分からない」の回答を除く多くの回答が肯定的なものでした。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 頑張ったことや、できるようになったことを先生が褒めてくれた時は、そのことをうれしそうに話してくれます。それをはげみに次もがんばる気持ちがでているようです。
- コロナ禍で授業を行うことが難しい状況においても、学校として限られた環境や設備の中、今できることを創意工夫しながら実践していただいていると思う。

● 子どもはいつも「学校に行きたくない」と言います。小学校で得るものが無いと言っています。登校を共にする友人がいるので行っていますが、子どもの意見の検証はできるのでしょうか？

⇒ 御意見ありがとうございます。日々の授業の振り返り、毎月行っている「児童アンケート」、年2回実施している「iチェック」などを活用して、子供の意見や思い、学級での人間関係や学校生活について検証・考察・改善に取り組んでいます。御家庭でも気になることがございましたら遠慮なく担任までお話しください。

● 今後も、教育へのICTの活用・推進に期待しています。

⇒ 御意見ありがとうございます。今年度末にはタブレット端末が児童一人一人に貸与されることになっています。また、校内のWi-Fi環境整備工事も年度内中に完了する予定です。本格的な導入に伴い、学校でもさまざま準備・取組を始めています。HPで公開している「はじめようオンライン」だよりや学校だより等でも進捗状況をお知らせします。

Ⅲ 学校教育目標（目指す教師像）について

（文責：教頭 徳田）

(1) 結果

「子供の気持ちに寄り添い、子供を大切に」「高い倫理観をもち、高め合い、協力し合う」については「分からない」の回答を除く多くの回答が肯定的なものでした。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- これまで経験したことのない状況の中、臨機応変に対応していただいていると感じる。
- 通常であれば学級参観や面談などで、学校内の雰囲気伝わってきますが、コロナ禍で、学校の印象を感じとる事が難しかったです。その中で、娘からは、担任の先生は、よく話をきいてくれ、良いところをよく褒めてくれると聞き、子供達に寄り添って頂いている事に安心しています。
- ひとりひとりの児童に寄り添う、そんな先生が理想ですが、人数が多いので、先生方は大変だと思います。子供が楽しく学校に行き、帰って来てからも学校での出来事を話してくれるので、学校が大好きな事が伝わります。先生方の日々の努力だと感謝しています。

● 学校の様子が全くわからないので、クラス便りを頻繁に発行してほしい。

⇒ 御意見ありがとうございます。学校の様子をもっとしっかりとお伝えしていくべきだったと反省しています。「学校だより」「学年だより」だけでなく、各学級の様子についても発信していけるよう努力してまいります。

- 授業の進みが遅いと思います。塾など通っている訳では無いので少し心配です。
⇒ 御意見ありがとうございます。学習の進捗について御心配をお掛けしました。3学期に入り、年度始に失った授業時数を取り戻し、学習進捗も例年どおりまで追いつくことができています。今後学年のまとめをしっかりと行って進級・進学に備えていきたいと思っています。
- 子どもに伝えないとの事で相談に伺いましたが、結局子どもに直接伝え、不信感に繋がりました。また、子ども一人ひとりの個性ばかりを尊重出来ない事は重々承知しておりますが、教育相談で子どもの特性や手助け等について予めお話しさせて頂いていましたが、蔑ろにされているように感じられます。教育の部分も必要ではありますが、果たしてそれは教育者としてのエゴではないのか、校内のマイルールになっていないのか、再確認して頂きたいです。
⇒ 御意見ありがとうございます。御相談いただいたことに対し、保護者の御意向に反してしまったこと深く反省しております。信頼される教師、学校とはどうあるべきかを考え、保護者の方と連携しながら子供の成長を支えていきたいと思っています。今後とも遠慮なく、御意見・御相談をいただきたいと思ます。

IV 保護者・地域との連携について

(文責：主幹教諭 島貴)

(1) 結果

「お便りやホームページ等」については、95.8%の回答が肯定的なものでした。一方、記述欄では「緊急連絡はメールでは気付きにくい」等の御意見を頂きました。

「保護者や地域からの情報や相談事に適切に対応」「校舎内外の施設設備」については、それぞれ「分からない」の回答を除く多くの回答が肯定的なものでした。記述欄では、職員用入口のセキュリティ面について御意見を頂きました。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- グリーンロードが増えた事や、危険な遊び方などが見受けられた際の家庭への連絡なども、しっかりと対応して頂けていると思います。
 - PTA活動がない中、下校指導他、児童の安全に努めていただきありがとうございます。
 - 常に情報を配信していてとても良いと思います。
 - お便りノートなどを利用して、いつも対応して頂いています。
 - トラブルなど丁寧に対応していただいています。
 - いつも意見を真摯に聞いてくれてありがとうございます。しっかり受け止めてくださるので、意見も言いやすいです。
- 爆破予告という緊急・非常事態で学校からの気付きにくいメールのみの連絡では連携が取れているとは思えない。
⇒ 御意見ありがとうございます。全家庭の保護者の皆様に瞬時に情報を共有していただくことはなかなか困難なことです。現時点では、文書やホームページ、電話連絡と比べても、「一斉メール」が最も迅速に情報提供ができる手段となりますので、御理解と御容赦を願います。

● ホームページ:活動の様子，更新が少ないように感じる。
⇒ ホームページを御覧いただきありがとうございます。1月初旬よりホームページを一部リニューアルし，全職員が輪番制で執筆を担当し，もうすぐ卒業を迎える6年生との思い出等を綴る「学校日記」を毎日更新中です。是非御覧ください。

● 新しい時間割や校長室だよりが，HPにしか載ってなくて，気づかなく，もっと早くに知りたかったなって事がありました。お便りで出さない情報を，HPで載せるなら，HPを更新したメールがあったら助かります。

● メールが多すぎて何が大切なのか分からなくなる。緊急のもの以外はメールはいらない。
⇒ 両面からの御意見ありがとうございました。臨時休校中の課題等についてホームページに載せた場合はその旨をメールでお知らせしておりましたが，緊急でない場合はその都度のメール配信は控えさせていただきます。今後も可能な限り具体的で迅速な情報提供に努めてまいりますので，御理解をお願いいたします。

● セキュリティー面ですが門も開けっ放しで，職員用の入り口は誰でも入ってこれるのはどうかと不安になります。面倒ではあると思いますがしっかり施錠しインターフォンで保護者が確認する等した方が良いと思います。また学校を訪れる際に首から下げる名札とかあった方が良いと思います。

⇒ 御意見ありがとうございます。現在は，児童登校後の9時～15時まで校門を閉め，朝・授業中・放課後に担当者が毎日校舎内外を巡視するなど校地内巡視体制を見直し，実施しております。また，保護者・業者・デイサービス等全ての来校者に対しては従来よりインターフォン対応をしておりますが，更なるセキュリティ強化について検討してまいります。

● コロナで休校が続いた際，子どもだけで留守番をさせました。すごく不安でした。早急にネット環境下で学校と家庭の紐付けをして欲しいです。

⇒ 御意見ありがとうございます。文科省のGIGAスクール構想を受け，大和町でも来年度，児童生徒一人一人へのGoogleアカウント配付並びにタブレット端末の貸与を開始します。現在はオンラインを活用して学校と家庭をつなぐ体制を整えるため，次のような準備を進めております。

- ① 各学校のWi-Fi環境の整備（2月下旬～3月）
- ② 町内教職員へのGoogleアカウント配付（済）・タブレット端末貸与（3月）
- ③ 町内児童生徒へのGoogleアカウント配付・タブレット端末貸与（来年度）

これらに加え，小野小では既に，令和2年夏からの教職員の日常的な研修の実施や，オンライン学習を含む来年度のカリキュラム作成に懸命に取り組んでおります。

保護者の皆様には大変お待たせしてしまい，気をもまれていることかと存じます。お子さんの手元にタブレットが渡って授業で安全に活用したり学校と御家庭をつないだりするまでには，膨大な時間と事前準備が必要であることを何卒御理解いただき，来年度からの学習に御協力をお願いいたします。

(1) 結果

「学校での学習に意欲的」については 86.0%の回答が肯定的なものでしたが、「家庭で自分から進んで学習」「『学年×10分』以上の家庭学習の習慣」についてはそれぞれ 30%以上の回答が否定的なものでした。記述欄では「宿題が少ない」との声があった一方で、「宿題が終わらない」「課題が多い」との声も聞かれました。

「生き生きと学校生活を」「決まりを守って生活」「友達と仲良く生活」については、いずれも 90%以上が肯定的な回答でした。一方で、「感謝の気持ちをもって生活」については 11.5%、「言葉遣いに気を付けて生活」については 23.1%の回答が否定的なものでした。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 今日の宿題の内容を伝えてくれて、分からないところも質問しながら進める姿がよく見られます。
 - 親も学校任せではなく、より子供に寄り添って学習や生活を見てあげたい。
 - 家庭学習の内容によってモチベーションが異なるので、いつも楽しくできるように環境作りをしてあげたいです。
 - 家庭学習は好きでしっかり取り組んでいると思います。
 - 触れ合う時間はとても短く悲しいことですが、純真無垢な笑顔があると安心して居られるのは先生方のお陰と存じます。
 - 笑顔で生活している為、学校生活も充実しているように感じます。
- 日増しに疲れが出てきたようで家庭学習の時間が減ってきました。宿題のみ行い、予習が行えない日が頻繁にあります。家庭での工夫も必要だと思いますが、課題を減らせないのか、検討していただきたいです。
- 土日は自主学習をしなくてよいからと言い張り、決められた宿題しかせず少し心配になります。親からすればもう少し勉強してもらいたいのので、土日の自主学習も必須にさせていただいてもいいのかなと思います。
- 授業内容が前倒しになり今まで中学校で習うものも学習しているのですが、中学校になれば更に難しくなっていくと思われまます。是非宿題を増やし、中学校での学習でつまづかないような対応をお願いしたいと思います。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。課題については、決まった内容・分量の「いつもの宿題」とは別に、各学年に応じた自主学習を推進しています。一日の効果的な学習量や内容はお子さん一人一人で異なり、また、お子さんによって忙しい曜日、ゆとりのある曜日もそれぞれだと思われまます。自分のペースと生活時間に合わせて学習を進めていけるよう、学校でも再度指導と声掛けを致します。
- 思ったことを口にすることができるようになった分、反抗的な言葉も出てくるようになりました。言葉遣いに関しては度々注意しています。母親の影響もあるかと思うので気を付けたいと思います。
- ⇒ 御家庭での御指導ありがとうございます。学校では、低学年から高学年までほとんどのお子さんが丁寧な言葉や敬語を使いこなしたり、授業中は友達を「さん」付けて呼んだり、相手を尊重する話し方ができています。一方、遊びの中では、思わず乱暴な言葉遣いになってしまう児童も少なからずいます。「親しき仲にも礼儀あり」ということを、各学級・学年にて継続的に指導していきます。
- 読書をする機会が少ないので不安。
- ⇒ 御心配いただきありがとうございます。来年度は、各学級で読書の時間を確保するために工夫を致します。学校では各学年とも、とても多くの児童が図書館で本を借りたり朝読書の時間に本に親しんだりする姿が日常的に見られます。家庭ではゲーム等に夢中になっているお子さんも、学校では読書に勤しんで

いるのではないかとされます。御家庭で話題になさってみてください。

Ⅵ 御家庭でのお子さんとの関わりについて

(文責：教頭 安藤)

(1) 結果

「お子さんの努力を認め励ます」「『はやね・はやおき・あさごはん』など」については、それぞれ 90% 以上が肯定的な回答でした。お便りや通信票をもとにお子さんを励まし、また、基本的な生活習慣について御家庭でお声掛けいただいていることは、お子さんの心の安定をもたらすものと考えます。

一方、「学校での交友関係や生活をよく知っている」については約 10%、「テレビやゲームの時間を守らせる」「家庭学習のサポート」についてはそれぞれ 20%以上が否定的な回答でした。交友関係やゲーム・テレビなどのスクリーンタイムの把握、家庭学習のサポートについては、小学生という発達段階からもお子さんの自主性に任せるのではなく、御家庭の御協力がまだまだ必要です。今一度、時間を取って各御家庭での約束やマナーをお子さんと共に話し合ってくださいことで、自らの生活を振り返り、更に望ましい学習や生活リズムの習慣化につながるものと思われます。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 勉強では、大袈裟に褒めたり花丸を付けたりすると意欲が上がっているようなので心掛けている。
- できたことを褒め、認めてあげること。失敗したときや何かいけないことをしたときは、怒る前に気持ちを聞くようにしています。
- ⇒ 褒められるのは大人でも嬉しいものです。家族の方々に褒められることによって、お子さんはうれしくて、「もっと頑張ろう」「苦手なことも頑張ってみよう」と自信と意欲を高めます。認め励ますお声掛けは、お子さんの最高のエネルギー源です。家のことやお仕事、子育てなどで毎日いろいろありますが、お子さんにとって大きな存在である我々大人が、心と時間に余裕をもって、子供たちに寄り添い向き合う時間を大切にしていきたいものです。
- 帰宅後は、学校の宿題や、曜日によって習い事をし、お家遊びやお外遊びをしています。そのせいか朝はとて眠そうにしています。生活リズムを少し見直さなければいけないと思っているところです。
- ⇒ 学年に応じた家庭学習の目安時間（学年×10+10分）や習い事等にもより、帰宅後の過ごし方はお子さん個々に違いがあります。いかに遊ぶ時間を捻出するか工夫しているお子さんもいるようです。また、小学生の睡眠時間は、9～13時間が望ましいと言われています。登校時刻を考えると、21時～22時頃が就寝の目安になるでしょう。
- ⇒ 宮城県で推奨している「早寝・早起き・朝ごはん」に御協力いただいている御家庭が多く、基本的な生活リズムが身に付いていることが、「明るく生きる子供」「賢く生きる子供」「強く生きる子供」を育む土台・ベースになっているものと考えます。
- 学校でのことをできるだけ聞くようにしています。
- 学校での出来事を聞いてあげる時間がなかなか取れない。

- 学校での生活を聞いても、部分的な場面の説明のみです。なかなか知る機会がないので工夫して下さると助かります。子供が説明できるような分かりやすい言葉での表現等工夫して下さっているとありますが、もう一工夫して下さるとありがたいです。
- ⇒ 学校での出来事を自分から話すお子さんもいますが、「自分からなかなか話してくれないため、できるだけ聞くようにしている」との声が多かったです。また、「聞いてもなかなか話してくれない」と悩んでいらっしゃる御家庭もありました。学校での出来事を話題として、お子さんとの会話に生かしていただけるように、今後も、学校・学年・学級からのお便りやホームページを活用して学校からの情報発信に努めていきたいと考えています。なお、緊急を要するお知らせについては、学校メールでお知らせしていきます。

- ⇒ いただいた御意見の中から、「聞く」ときの対応を御紹介します。
- 1日の中で楽しかったことなどを聞くようにしています。
- 学校での辛いことも隠さず話してくれるので、解決するために一緒に考え、行動を改めさせることもできています。
- 良いことも悪いことも、その日の出来事を家族で話す時間を作っています。子供たちの話をたくさん聞くようにして、会話を楽しんでいます。
- ⇒ お子さんの方から「あのね、…」と話してくるときをチャンスとして、何はさておき耳を傾けてきても、学年が進むと「反抗期」を迎えるお子さんもいて、対応に悩まれている声もありました。
- 反抗期・思春期に入ったようで難しい。
- 最近、反抗期に突入したようで、心の成長を感じています。
- 交友関係、子供同士のことに親が介入し過ぎているように感じます。親が介入することで、交友関係も複雑になっていて、楽しく遊びたいと思っている子供の気持ちが蔑ろになっていないかなと思うこともあります。
- ⇒ お子さんの交友関係を把握していらっしゃることは、親子での情報がしっかり共有されているからでしょう。お子さんが、子供同士で築く人間関係の中で悩んだり学んだりする姿を御家庭で見守っていただき、お気付きの点などありましたら、担任にも御連絡ください。

- ゲームをする時間など、きちんと決めてはいるが、テレビを見る時間は重傷になっているところもあり、生活習慣を見直す必要があると感じています。
- 時間を決めて YouTube を見るように言っても、だらだら見続けます。注意しても手に負えなくなるため、つい静観してしまいます。本人の気づきを重視しています。
- ゲームの時間の管理が難しいです。
- ⇒ スクリーンタイムをお子さん自身で規制することは、楽しさが勝ってしまいなかなか難しいものです。「自由」や「子供に任せている」「自己管理」という下では、制限なくゲームや画面を見ることが習慣化してしまい、睡眠時間等の生活リズムや体調にも大きく影響してきます。

動画や検索サイト、YouTube や LINE、スマホやゲーム…。メディアや情報機器との出会いが低年齢化してきています。小さい頃からのルールづくりや情報モラル教育の重要性が指摘されています。そして、学年が進んでも、「今さら…」ではなく、「今」をチャンスに、「今だからこそ」改めてお子さんと一緒に御家庭でのルールや約束を話し合ってみてはいかがでしょうか。さらに、約束を決めて終わりではなく、御家族で確認し合えるように、その約束を見える化してお子さんと振り返ったり、あるいは一緒にスクリーンタイムを過ごしたりするのも、小学生の今しかできないことかもしれません。
- 兄弟もいるので一人に時間をかけて見てあげられない。宿題は必ず確認している。
- 兄弟がいるため、宿題の丸付けやチェックが負担になっています。サポートしきれない部分もある気がしています。
- 親では分からない問題など、上の兄弟が教えてくれることもあります。
- ⇒ お忙しい中、御家庭で課題を見ていただく時間を作っていただき、ありがとうございます。サポートには、「声を掛ける」「見守る」「教える」「確認する」など様々な形が考えられます。御家族の方が

できる形でサポートを続けていただくことで、お子さんの励みになり、家庭学習の習慣化も期待できます。

★ ちなみに、下記の5項目は、宮城県教育委員会からの提言で、各学校で学習指導をすることに意識して取り組んでいる「学力向上のための5つの提言」です。

- (1) どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること
- (2) 子供をほめること、認めること
- (3) 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適応問題や小テスト、
授業感想を書く時間を位置付けること
- (4) 自分の考えをノートにしっかり書かせること
- (5) 家庭学習の時間を確保すること

- 家庭学習を身に付けるためにはどうすればよいか悩んでいる。
 - 学校でどのような学習をしているのか知らせてもらえると家庭でもサポートがしやすい。
- ⇒ 毎日の宿題やお子さんのノートに目を通していただいたり、学習していることをお子さんとの話題にさせていただいたりすることで、「家族に伝えよう、伝えたい」という思いから、学習内容をより意識して取り組んでいるお子さんもいます。指導内容を詳細にお伝えすることはなかなか難しいですが、学習の様子や学年の課題については、今後もお便り等でお知らせしていければと考えています。

★ 今後とも、そして今まで以上に学校と御家庭とで連携を図り、お子さんの健やかな成長を願って「手を掛け」「目を掛け」「声を掛け」「心を掛け」ていきたいと思っております。

Ⅶ その他

(文責：教頭 安藤)

【学校公開について】

- 様々な行事が中止になり、諦めていた行事もありましたが、学校の計らいで少しではありますが体育参観ができ、子供の成長を改めて感じる事ができました。
 - 保護者が学校に行く機会が減っているので、学校での様子や子供がどれだけ成長しているのか、いろいろなことが気になります。
 - 学校でどう過ごしているのか分からないという不安があります。
 - 通信票だけでは判断できないので、何か担任の先生とお話できる機会などあればうれしいです。
- ⇒ 感染症予防により学校行事や学校公開の機会がないままで、保護者の皆様には様々な面で御心配をお掛けしました。学校再開以降、教職員一丸となってお子さんの安心安全な学校生活と今年度の学習を保障しようと、努めてきました。

そうした中、個別の教育面談等でお会いできた保護者の方もいらっしゃいましたが、未だ保護者の皆様と一堂に会してお会いする機会のないままで、大変心苦しく感じています。やっと体育見学会や地区別参観を実施することができたのは、だいぶ寒さが厳しくなってからでした。3密を避け、参観時間や検温等への御協力などありがとうございました。2月の地区別参観につきましても御案内を差し上げていますが、感染状況によって変更があり得ます。何卒、御了承願います。

また、担任へのお話（連絡や相談等）を御希望の場合は、お気軽に御連絡ください。

【感染症対策に関して】

- コロナ禍で感染症対策など、気を遣う毎日ですが、元気に登校できていることが何よりかなと思います。引き続き対策や心のケアなど、よろしくお願いします。
- 感染症予防対策を一生懸命考えてくださっていること、定期的にお知らせいただきありがとうございます。
- コロナという不安な状況が続く中ですが、子供たちには明るい未来があることを願うばかりです。新しい生活様式の中でも楽しみを見付け、互いに思いやりをもって生活できればいいと思います。
- 感染拡大が懸念されています。アルコールスプレーを学校で用意していただけないでしょうか。教室に入る際やトイレの後など、手指消毒は極めて重要だと思います。また、給食前にテーブルを拭く際、自分の机は自分で拭くというふうに変えることはできないでしょうか。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。アルコール消毒については学校再開後しばらく使用していましたが、学校薬剤師さんからの指導と、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル『学校の新しい生活様式』」に基づき、校内で共通理解の下、給食準備や清掃などを実施しています。その中で、「特別な消毒を行うのではなく、前後に手洗いをを行う」とあるため、現段階では手洗いの徹底を指導しています。今後も、感染状況や対策に関する情報収集に努め、対応していきたいと考えています。
- 感染者が出た場合、混乱を避けるため曖昧な表現ではなく正確な情報を配信することが大切だと思います。その上で自分にも起こり得ることであること、心のケアなど並行して学校関係者と保護者共に取り組むことが必要だと思います。
- ⇒ 感染症対策や感染による臨時休業への対応など、御協力ありがとうございました。御意見にありますように、予防をしても感染源が分からず誰にでも起こり得る状況にあります。それゆえ、できることをしっかり行っていくことに努めていきたいと考えます。感染が確認された場合は、学校独自の判断で対応するのではなく、関係諸機関と連携してその指示の下で対応をしていきます。学校から発信できる情報は限られているため御心配をお掛けしますが、関係ある方には個別に対応させていただきますので、御家庭の判断や御理解をお願いします。学校としましても、偽りの情報を発信することのないよう複数の目で確認をしています。何か御心配なことがございましたら、学校までお問い合わせください。

【オンライン・Web システムに関して】

- 今後、休校になったときには、オンラインで学習できる環境が整っていることを願います。
- 要望として、遅刻や欠席の連絡を連絡帳ではなく、web 入力にしていただけないでしょうか。周りの子供たちが7時過ぎに家を出てしまうので、欠席させるか悩んでいるうちに連絡帳をお願いできなくなってしまいました。
- ⇒ 突然の休校期間中には、御家庭での課題の進め方や提出等に御協力をいただきましてありがとうございました。保護者の方々からは、オンライン学習に関する非常に高い期待と関心が寄せられています。情報教育部からの「はじめようオンライン」をお読みいただいていますでしょうか。お知らせしていますとおり、国が進める「GIGA スクール構想」の下、大和町では今年度中にタブレットやネット環境の整備を行い、次年度からオンライン学習を可能とする準備をしています。環境が整った後には、子供たちが活用するための学習を計画的に行っていきます。保護者の方々には御理解をいただきながら進めていきたいと考えていますので、御協力よろしくお願いします。

【各種お便りについて】

- 学校で決められている帰宅時間についてをしっかりと知らせてもらいたいです。12月になっても5時まで家で遊ぶお友達がいて、困ってしまったことがありました。先日メールで『4時半には帰宅』とお知らせがあったので安心しました。
- 学校・学年便りに終業式や始業式の日の下校時刻の記載をお願いします。
- 学級での様子を知る機会がないため、できれば月に1回でも学級便りをいただけたらと思います。
- ⇒ 学校での様子をお伝えしたり、御理解や御協力をいただいたりするためにも、情報発信を大切にしていけることを、学校として努めていきたいと考えます。内容についての御意見もありがとうございました。

【学校の取り組みについて】

- アンケートなどを行い、学校をよくしていこうとする姿勢がいい。
 - 学校全体としてももう少し学習面や勉強以外の様々な活動に力を入れていただけると有り難いと思います。他学校との差をできるだけ少なくしてほしいと思います。
- ⇒ 保護者の皆様には、たくさんの御意見をお寄せいただきました。頂いた御意見のとおり、小野小学校を更によくしていこうという思いです。今後も、地域保護者の方々に御協力を頂き、関係諸機関からの御指導を仰いで、教職員みんなで力を合わせて努めていきたいと考えています。令和3年度に向けて計画を立てている今、そしてコロナ禍で例年とは異なる今だからこそ、他の小中学校と情報交換しながら、よい意味での差を「小野小らしい」教育活動に組み入れ取り組んでいきたいと考えています。